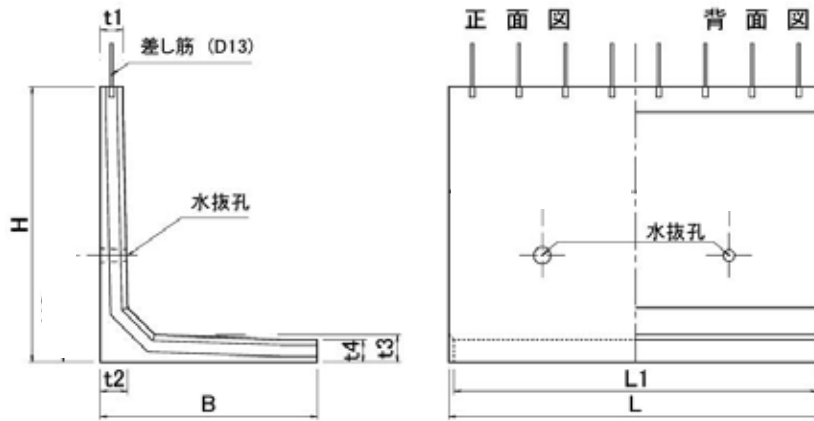


ML擁壁 高上タイプ



呼び	寸法 (mm)								参考重量 (kg)	
	H	B	t ₁	t ₂	t ₃	t ₄	L ₁	L	L=2m	L=1m
1000S	800	850	100	100	100	100	1960	2000 (995)	760	380
1200S	1000	1000	100	110	110	100	1954		980	490
1400S	1200	1100	100	120	120	100	1948		1180	590
1600S	1400	1250	100	130	130	100	1942		1440	720
1800S	1600	1350	100	140	140	100	1936		1670	835
2000S	1800	1450	100	150	150	100	1932		1970	985
2250S	2000	1750	100	180	180	100	1918		2550	1275
2500S	2250	1750	100	180	180	100	1918		2670	1335
2750S	2500	2050	100	220	220	100	1904		3510	1755
3000S	2750	2050	100	220	220	100	1904		3630	1815

許容差 (mm)	$H \cdot B \cdot t_1 \cdot t_2 \cdot t_3 \cdot t_4 \cdot L$
	± 5

呼び	配筋										かぶり厚限界		曲げ強度 荷重 (kN)	スパン L (mm)	圧縮強度 (N/mm ²)
	S ₁		S ₂		S ₃		S ₄		S ₅		(mm)				
	径	数量 (本)	径	数量 (本)	径	数量 (本)	径	数量 (本)	径	数量 (本)	最小	最大	L (mm)		
1000S	D10	8	-	-	-	-	D10	5	D6	7	40	50		61	600
1200S	D10	8	-	-	-	-	D10	5	D6	8	40	50	49	800	
1400S	D10	10	-	-	-	-	D10	6	D6	9	40	50	42	1000	
1600S	D10	12	-	-	-	-	D10	7	D6	11	40	50	37	1200	
1800S	D10	14	-	-	-	-	D10	8	D6	11	40	50	34	1400	
2000S	D13	10	D13	10	D10	6	D10	6	D10	20	40	50	32	1600	
2250S	D13	15	D13	15	D10	8	D10	8	D10	21	40	50	29	1800	
2500S	D13	15	D13	15	D10	8	D10	8	D10	22	40	50	26	2050	
2750S	D16	12	D16	12	D10	8	D10	8	D10	22	40	50	28	2300	
3000S	D16	12	D16	12	D10	8	D10	8	D10	23	40	50	25	2550	

配筋は製品長さ2mの場合、1mの場合、S₁~S₄の鉄筋本数を 偶数の場合は1/2、奇数の場合は1/2の整数+1とする。

1000S~1800Sまでのシングル鉄筋の製品検査記録においては、S₄をS₂にS₅をS₃に置き換えても良い。

2500Sの鉄筋は、S₁₋₁ 8本 (5) とS₁₋₂ 7本 (3) の本数を合わせて、S₂₋₁ 8本 (5) とS₂₋₂ 7本 (3) の本数を合わせて表示した。()内は1mの場合の本数を示す。

曲げ強さ荷重は製品長さ2mの場合、1mの場合には1/2とする。

本表の曲げ強さ荷重は縦壁を下側とし、単純梁として試験を実施する際の荷重である。

試験設備等の関係で、本試験方法によりがたい場合は、発生曲げモーメントが同等以上となるようにスパン及び曲げ強さ荷重を計算に求め、社内に基準値を定める。

平成21年(2009年)4月1日規格変更。(詳細は配筋図参照)

平成24年(2012年)4月1日水抜き孔形状変更及び一部規格廃止。